

## 第 25 章 噴火警戒レベル



秋田焼山の噴火警戒レベル

予報 警報	対象 範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>居住地域に影響を及ぼす大規模噴火の発生。</li> <li>噴火に伴う融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。</li> </ul> <p>【過去事例】 有史以降の事例なし。 (数千年に一回程度の発生規模)</p>
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要。 特定地域は避難。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活発な地震活動や山体膨張が継続するなど居住地域に影響を及ぼす大規模噴火の発生の可能性。</li> <li>噴火に伴う融雪型火山泥流が発生し、噴火がさらに継続すると居住地域まで到達すると予想される。</li> </ul> <p>【過去事例】 有史以降の事例なし。 (数千年に一回程度の発生規模)</p>
火口周辺警報	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	居住地域の住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者は避難準備。特定地域は避難準備、場合によっては避難。 登山道・危険な地域への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中規模噴火が発生して、少なくとも火口から概ね 2 km 以内に大きな噴石飛散。活動状況により特定地域に影響が及ぶ場合を含む。</li> <li>居住地域までは影響が及ばない程度の火砕流、融雪型火山泥流の発生が予想される。</li> </ul> <p>【過去事例】 規模の大きな山頂噴火（615 年頃の噴火）。</p>
	火口から少し離れた所までの火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。火口周辺への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模噴火が発生し、火口から概ね 1 km 以内に大きな噴石飛散。</li> </ul> <p>【過去事例】 1997 年 8 月 16 日 空沼から水蒸気爆発。 1951 年 空沼から水蒸気爆発。 1949 年 空沼から水蒸気爆発。</p>
噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>火山活動は静穏（湯沼での弱い噴気活動等も含む）。</li> </ul>

- 注1) 表中で特定地域とは、居住地域よりも秋田焼山の想定火口に近いところに位置する温泉等の施設が含まれる地域を指します。居住地域よりも早い段階（レベル3）で避難準備や避難の対応が必要となる場合があります。鹿角市…秋田焼山東部の温泉郷および施設（大沼地熱発電所、八幡平ビジターセンター等）、秋田焼山北東部の温泉（銭川温泉、志張温泉元湯）および施設  
仙北市…田沢湖玉川の温泉郷および施設、秋田焼山東部の温泉
- 注2) 積雪期の道路閉鎖、または噴石、火砕流、融雪型火山泥流により避難道路が通行不能になるおそれがある地域では早期避難が必要です。
- 注3) 風下側では、小さな噴石（こぶし大）や火山灰が、大きな噴石の飛散範囲よりはるかに遠くまで降ることがあるので注意が必要です。

秋田駒ヶ岳の噴火警戒レベル

名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
噴火警報（特別警報）	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	噴火による影響で、居住地域に重大な被害が切迫している場合。 ・噴火に伴いカルデラから火砕流、融雪型火山泥流の流出が予想された場合。 【過去事例】 有史以降の事例なし
		4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備、災害時要援護者の避難等が必要*。 全山入山規制。	噴火による影響で、居住地域に重大な被害が予想される場合。 ・噴火に伴い火砕流、融雪型火山泥流が発生し、カルデラ縁付近まで到達する恐れがある場合。 ・噴火に伴い噴石が居住地域の近くまで到達すると予想された場合。 【過去事例】 有史以降の事例なし
火口周辺警報（警報）	火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等*。 登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等。	噴火による影響が火口からおおよそ 2km 以内。 ・噴火に伴いカルデラ内で火砕流、融雪型火山泥流が発生（確認）した場合。 ・噴石がカルデラ縁を越える噴火が発生した場合または、噴火の発生が予想された場合。 【過去事例】 1970 年女岳からの噴火
	火口から少し離れた所までの火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口域周辺への立入規制等。	噴火による影響が火口から 500m 以内。 ・地震活動や噴気活動の活発化等により、噴火の発生が予想された場合。 【過去事例】 1932 年南部カルデラ内（石ポラ）での水蒸気爆発
噴火予報（予報）	火口内等	1 (活火山であることとに留意)	火山活動は静穏。	状況に応じて火口内への立入規制等。	火山活動は静穏。 ・女岳北側で弱い噴気活動が見られるが、南部・北部カルデラに目立った表面現象はない。

噴火による影響とは、噴石、火砕流、融雪型火山泥流により、現象が始まってから避難までの時間的な余裕がほとんどなく生命に対する危険性が高い火山現象による影響です。

\*噴石、火砕流、融雪型火山泥流で、避難道路などが通行不能となる恐れがある区域では、早期避難が必要です。

資料番号 25-3

〔秋田地方気象台〕

鳥海山の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報（居住地域）又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等。	噴火により火砕流・火砕サージ、火口噴出型泥流、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼす、または切迫している。  【過去事例】 1800～04年の噴火：新山形成、火砕物降下、噴石、泥流、死者8名
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。  要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	噴火により火砕流・火砕サージ、火口噴出型泥流、融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼすことが予想される。  【過去事例】 該当事例なし
警報	噴火警報（火口周辺）又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。  状況に応じて要配慮者の避難準備等、特定地域の避難等が必要。  住民は通常の生活。	噴火により大きな噴石が火口から概ね4kmの範囲内、火砕流・火砕サージが居住地域の近くまで影響を及ぼす、または予想される。  【過去事例】 1740～47年の噴火：噴煙多量。硫黄化合物が川に流入し、水田・川魚に被害 1974年の噴火：火砕物降下、泥流
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。  状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。  住民は通常の生活。	噴火により大きな噴石が火口から概ね1.5kmの範囲内に影響を及ぼす、または予想される。  【過去事例】 該当事例なし
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	火口内で噴気や火山ガス等が発生。

※火口とは、鳥海山火山噴火緊急減災対策砂防計画の想定火口域をいう。

状況に応じて新山周辺に火口域が限定される場合がある。

※火口噴出型泥流とは、噴火に伴い火山内部の熱水が噴出し、泥流となって流れ下る現象をさす。

※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。

※特定地域とは、他の居住地域より早期に避難等の対応が必要な地域をさす。

※各レベルの警戒が必要な範囲内で上位レベルに記載されている火山現象が発生する場合がある。

資料番号 25-4

〔秋田地方気象台〕

栗駒山の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	噴火警報（居住地域） 又は噴火警報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等。	融雪型火山泥流が居住地域まで到達、あるいは切迫している。  【過去事例】 有史以降事例なし
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まっている）。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。  要配慮者の避難等が必要。	融雪型火山泥流が居住地域まで到達するような噴火の発生が予想される。  【過去事例】 有史以降事例なし
警報	噴火警報（火口周辺） 又は火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。  状況に応じて要配慮者の避難準備等が必要。特定地域の避難等が必要。  住民は通常の生活。	火口から概ね4km以内に大きな噴石の飛散する噴火の発生またはその可能性。 火口から居住地域近くまで火砕流・火砕サーージ・融雪型火山泥流が到達、またはその可能性。  【過去事例】 有史以降事例なし
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	火口周辺への立入規制等。  住民は通常の生活。	火口から概ね800m以内に大きな噴石の飛散、火口周辺に火砕流・火砕サーージが流下するような噴火の発生またはその可能性。  【過去事例】 1744年の噴火、1944年の噴火
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	状況に応じて火口内への立入規制等。	状況により火口内に影響する程度の噴出の可能性。

※特定地域とは、居住地域よりも栗駒山の想定火口に近いところに位置する温泉等の施設が含まれる地域を指す。居住地域より早期に避難等の対応が必要になる場合がある。（須川温泉周辺地域、イワカガミ平）

※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。

※レベル3以上の火砕流・火砕サーージは、溶岩ドームの崩落に伴って発生する様式を想定している。火砕流・火砕サーージの影響範囲は、溶岩ドームの成長の度合いや、到達範囲の進展をみながら判断する。

